

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】平成 23 年 6 月 16 日 (2011.6.16)

【公表番号】特表 2009-541164 (P2009-541164A)
 【公表日】平成 21 年 11 月 26 日 (2009.11.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-047
 【出願番号】特願 2009-516902 (P2009-516902)
 【国際特許分類】

B 6 5 D 83/08 (2006.01)

B 6 5 D 85/16 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 83/08 Z

B 6 5 D 85/16

【手続補正書】
 【提出日】平成 23 年 4 月 20 日 (2011.4.20)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

脱脂綿タンポン等の柔軟な平板状の吸収体 (10、110) のスタック (12、112) 用のパッケージングであって、

第 1 の端部 (1、101) と、端壁 (3、103) を具える第 2 の端部 (2、102) と、吸収体 (10、110) を収容するための内容積 (5、105) を包囲し、かつ、第 1 端部 (1、101) と端壁 (3、103) を具える第 2 端部 (2、102) を接続する円形壁 (4、104) とを有し、端壁 (3、103) は、一度に 1 つの吸収体 (11、111) を引き出すための開口 (6、106) を有しており、該開口 (6、106) は、少なくとも一方向における寸法 (d) が、同一方向における吸収体の寸法 (D) よりも小さく、第 2 端部 (2、102) は載置点 (7、107) を具え、載置点 (7、107) は、端壁 (3、103) から突出した支持装置 (8、108) 上で端壁 (3、103) の開口 (6、106) から外方に離間して配置されており、かつ、支持面上でパッケージングを支持するための載置面を画定するパッケージングにおいて、

支持装置 (8、108) は、円形壁を延長することにより形成されることを特徴とするパッケージング。

【請求項 2】

前記パッケージングは、ホイル、板紙又は金属のような剛性材料、半剛性材料または可撓性材料から作られた長円形容器である、請求項 1 に記載のパッケージング。

【請求項 3】

吸収体のスタック軸線 (13、113) が開口 (6、106) の面に略垂直である、請求項 1 又は 2 に記載のパッケージング。

【請求項 4】

円形の端壁 (4、104) の延長部は換気孔 (9、109) を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項記載のパッケージング。

【請求項 5】

載置点 (7) が閉じた線を形成する、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載のパッケージング。

【請求項 6】

支持装置（１０８）は、少なくとも３本の脚部（１１７）とともに形成される、請求項１～４のいずれか一項に記載のパッケージング。

【請求項 7】

スタック（１２）を端壁（３）の開口（６）に向かって推進する推進源を有する、請求項１～６のいずれか一項に記載のパッケージング。

【請求項 8】

推進源は、吸収体のスタック（１２）を端壁（３）の開口（６）に向けて押し付けるばね仕掛けの中間ベース（１４）を含む、請求項７に記載のパッケージング。

【請求項 9】

脱脂綿タンポン等の柔軟な平板状の吸収体（１０、１１０）のスタック（１２、１１２）を収容した、請求項１～８のいずれか一項に記載のパッケージング。